再評価結果(平成28年度事業継続箇所)

担 当 課:環境安全課 担当課長名:菊地 春海

事業名	その他市道	ほくぶかんじよう 北部環 状線		事業 : 地方	渞	事業 ¦ ¦岩= 主体 ¦	手県
起終点	自:岩手県	l みゃこしゃまぐち l 宮古市山口 l みゃこしさばら l 宮古市佐原		·		延長	2. 5 km
滞緩和やまた、	更 ┆ ヒ部環状線は、 ▷三陸縦貫自動	三陸縦貫自動! 助車道へのアク ⁻ 或を回避して第-	セス向上を目的。	古北 I Cと国道455 として整備するもの 設へのアクセスがで	のである。		
当該事		張興法に基づきī H-年度	市町村道代行事 都市計画決定 连度変更)	業として岩手県が H23年度用地 完了済)。 E度工事着手
全体事業	1		円事業進捗率	669	6 供用済延	長	— km
計画交通量 5,000台/日							
費用対效分析結果	】 2 (残事)	体) . 5	費_用_ : (残事業)/(事 7.7億円/ 事業費: 6.5億円/ 維持管理費: 1.2億円/	751億円 749億円 71.2億円 走行時間短縮 走行経費減少	(残事業)/(127億円/1 便益: 91億円/9 便益: 29億円/2 便益: 7.1億円/	127億円 1億円 9億円	準年 ¦ 平成27年
感度分析 【事業全	所の結果 全体】交通量 事業費 事業期間	: B/C=2.5~2	2.9(交通量 ±1 2.5(事業費 ±1 2.6(事業期間±2	0%) B	/C= 14.1~ /C= 15.1~ /C= 15.7~	17.8(事業	
事業の効果等 ①地域道路ネットワークの強化・アクセス向上 ・宮古市街地から国道45号を通過せずに宮古市北部へ迂回する路線であり、国道45号及び宮古市街地の 渋滞緩和が見込まれる。 ・三陸縦貫自動車道 ((仮称)宮古北IC) と国道45号を最短距離で結び、両路線へのアクセスが向上。							
②安全で安心できるくらしの確保 ・三陸沿岸道路と連携して、内陸部から津波浸水区域を回避する医療拠点へアクセスが確保される。 ・宮古市内通過交通の排除等により、通過交通に起因する交通事故の減少が見込まれる。 ③地域社会 ・岩手県を代表する観光地である、陸中海岸公園「浄土ヶ浜」へのアクセス向上。							
・地元で	<u>6地方公共団体で構成する「3</u> を受けている。	三陸沿岸都市会	議」「岩手県沿岸	; 片市町村復興期成同	別盟会」から	5三陸沿岸	道路の早期整
	西監視委員会の 5針(原案)と	D意見 ごおり「継続」7	が妥当である				
			問辺環境変化等 エ区) 延長1.		2 4 年度事業	業化)	

事業の進捗状況、残事業の内容等

・平成23年度事業化、用地進捗率100%、事業進捗率66%(平成27年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・事業の進捗に係る問題はない

• 平成28年度:供用開始予定

施設の構造や工法の変更等

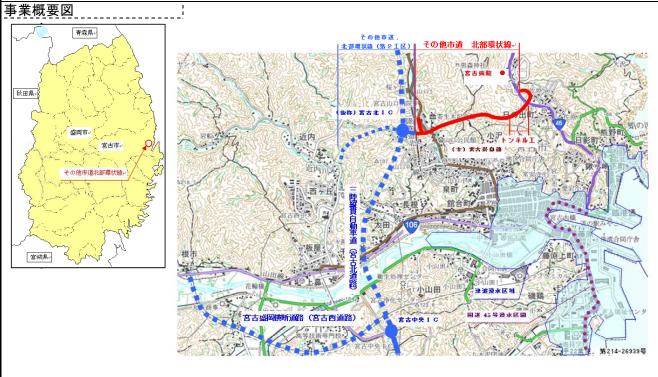
・コンクリートニ次製品の積極的な活用や再生骨材の採用等によりコスト縮減を図っている。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。